

ナブテスコ株式会社

2019年12月期第2四半期 決算説明会

2019年8月7日
CEO 寺本 克弘

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。

2019年12月期 第2四半期サマリー

売上高比較

- 前年同期比並み
- 期首計画比ではTRS^{*2}とMFR^{*4}で期ずれはあるもののほぼ計画通り



- *1 コルベント リローテーションセグメント
- *2 コンズメーブル リローテーションセグメント
- *3 プラセチリドイミド リローテーションセグメント
- *4 エコフレンドリーパッケージング リローテーションセグメント
- *5 OVALO GmbH社
- *6 本社費

営業利益比較

- 前年同期比で精密減速機の減を他事業で補うと共にOVALO社の減損影響がなくなり、増益
- 期首計画比ではCMP^{*1}の増加、ACB^{*3}の好調に加え、本社費発生遅れもあり計画を上回った



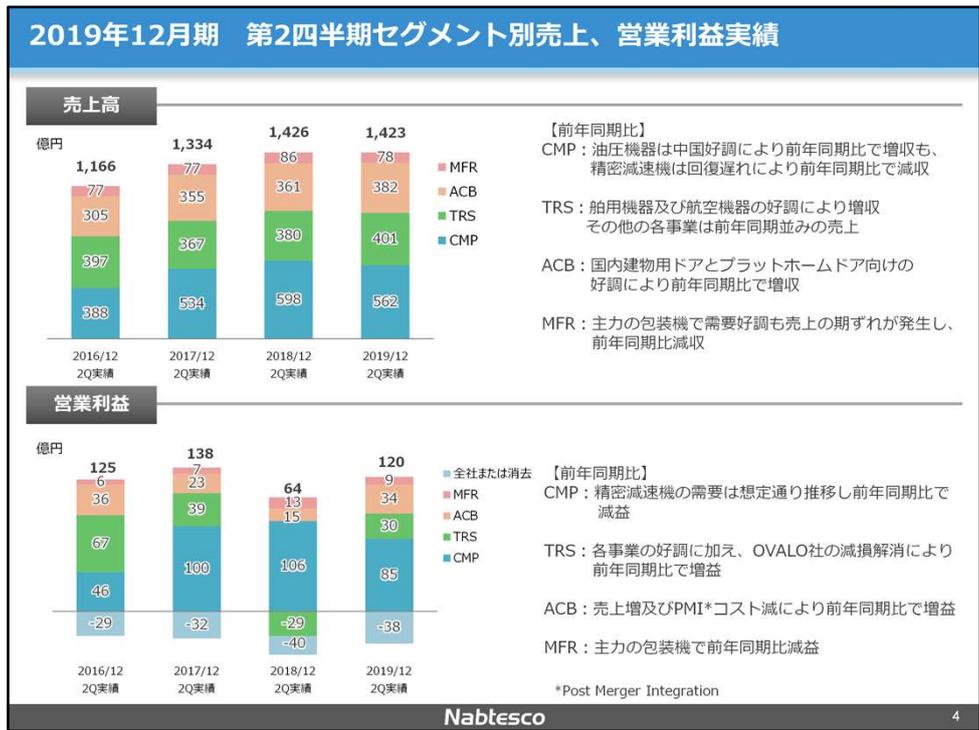
Nabtesco

2019年12月期 第2四半期連結業績概況

■ 期首計画比では売上高・営業利益・当期利益ともにほぼ達成。

(単位：百万円)	2018/12 2Q実績(A)	2019/12 2Q計画(B)	2019/12 2Q実績(C)	前年比増減 (C-A)	計画比増減 (C-B)
売上高	142,555	146,000	142,292	-263	-3,708
営業利益	6,387	10,300	12,011	5,625	1,711
(営業利益率)	4.5%	7.1%	8.4%	3.9pt	1.3pt
税引前利益	13,038	12,300	13,488	450	1,188
当期利益*1	7,886	7,600	7,706	-180	106
一 株 当 た り 純 利 益	63.62円	61.31円	62.11円	-1.51円	0.80円
中 間 配 当	36円	36円	36円	-	-

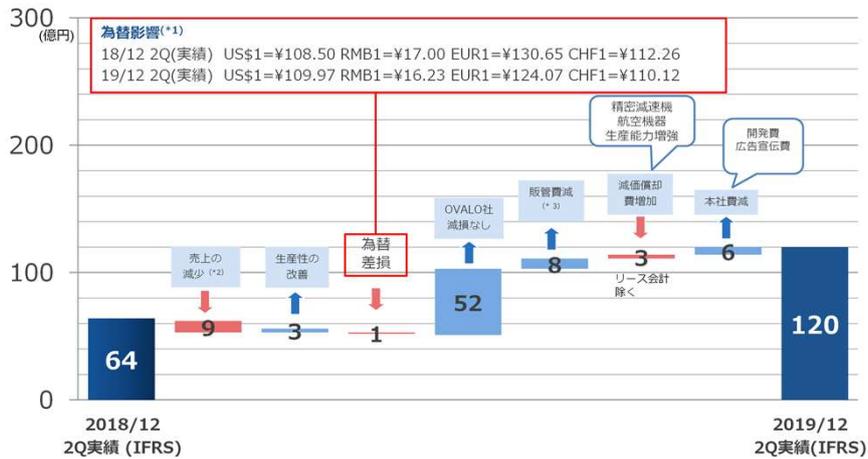
*1当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益



精密減速機の受注については、2018年4Qをボトムに、2四半期連続で前期比プラスが続いている。ただし、前年同期比はマイナスのトレンドが続いていることと、リードタイムが短いため今後の市況を注視したい。

2019年12月期 第2四半期営業利益変動要因分析（2018年実績比）

■精密減速機の減を他事業で補うと共に、OVALO社の減損影響解消と販管費等の発生遅れをうけ前年同期比増益となった。



*1 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)：米国ドル 36百万円 人民元 331百万円、ユーロ 軽微、スイスフラン 軽微
 *2 & *3 売上および販管費等の増減による営業利益の変化については為替影響を除き計算。
 *3 材料市況、カンパニー販管費等

2019年12月期 第2四半期バランスシート(2018年12月期末比)

■リース会計適用により資産・負債ともに増加も健全なBSを維持。

(単位：百万円)

	2018/12期末 2018年12月31日	2019/12 2Q末 2019年6月30日	差異
資 産	328,568	337,603	9,035
(現 預 金 等)	54,039	54,956	917
(売 上 債 権)	76,602	72,059	-4,543
(棚 卸 資 産)	43,592	46,022	2,431
(有 形 固 定 資 産)	80,573	83,801	3,228
負 債	139,313	145,973	6,661
(社 債 及 び 借 入 金)	45,310	44,229	-1,081
資 本	189,255	191,630	2,375
(非 支 配 持 分)	10,553	10,703	150
親会社所有者帰属持分	178,702	180,927	2,225
親会社所有者帰属持分比率：	54.4%	53.6%	

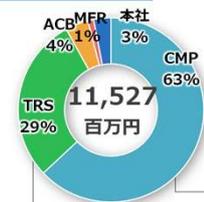
設備投資額・研究開発費・減価償却費

■期首計画に織り込んでいた精密減速機向け能力増強投資は需要動向に応じ機動的に進める予定

(単位：億円)	2018/12 2Q実績 (A)	2019/12 2Q実績 (B)	2019/12 通期計画 (C)	対前年同 期比 (B-A)	進捗率 (B/C)	2018/12 通期実績
設備投資額	115	76	306	-39	25%	203
研究開発費	52	48	106	-5	45%	102
減価償却費	49	64	134	----	----	100
				2018年はリー ス会計未導入		

設備投資額内訳

セグメント別



- 精密減速機
- 日本国内での増産投資
- 航空機器
- 岐阜工場設備増強



- 環境関連投資
- 研究開発関連投資



- 精密減速機
- 日本での増産投資
- OVALO GmbH
- 新製品の量産対応

目的別



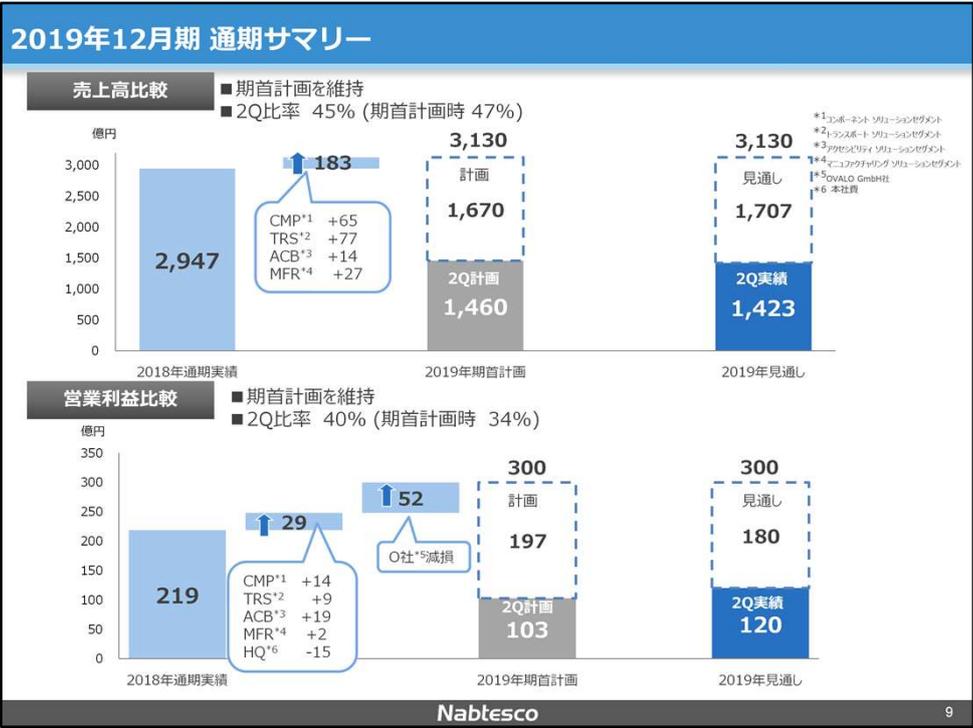
2018/12 2Q実績



2019/12 2Q実績



2019/12通期計画



2019年12月期通期連結業績見通し

■ 期首計画を維持

(単位：百万円)	2018/12 通期実績 (A)	2019/12 通期計画 (B)	前期実績比 増減額 (B-A)
売上高	294,626	313,000	+18,374
営業利益	21,889	30,000	+8,111
(営業利益率)	7.4%	9.6%	+2.2pt
税引前利益	29,962	33,600	+3,638
当期利益 * 1	21,029	22,900	+1,871
ROA	6.7%	6.6%	-0.1pt
ROE	12.1%	12.3%	+0.2pt
一株当たり配当金	73円	73円(予)	
配当性向	43.0%	39.5%(予)	

*1当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

Appendix

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) : IFRS

2Q実績



通期予想



トランスポートソリューションセグメント (TRS) : IFRS

2Q実績



通期予想



ナブテスコサービスの売上は2017/12通期実績まで旧セグメントでの計上

Nabtesco

13

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) : IFRS

2Q実績

売上高 (億円)

■ 自動ドア



通期予想

売上高 (億円)

■ 自動ドア



マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR) : IFRS

2Q実績

売上高 (億円)

■ 包装機 ■ その他



通期予想

売上高 (億円)

■ 包装機 ■ その他



Nabtesco

15

2019年12月期セグメント別売上高、営業利益見通し

売上高



全体：期首計画維持

【年間見通し】

CMP：精密減速機は足元の需要は弱いものの下期回復の見通し
油圧機器は上期の東南アジアでの遅れを取り戻し期首計画並みの見通し

TRS：各事業の上期の期ズレ分を下期に取り戻し、期首計画通りの見通し
OVALO社は計画通り下期量産開始予定

ACB：堅調な建物用ドアとプラットフォームドア需要により期首計画通りの見通し

MFR：包装機の上期の遅れを下期でカバーし期首計画通りの見通し

営業利益



全体：期首計画維持

【年間見通し】

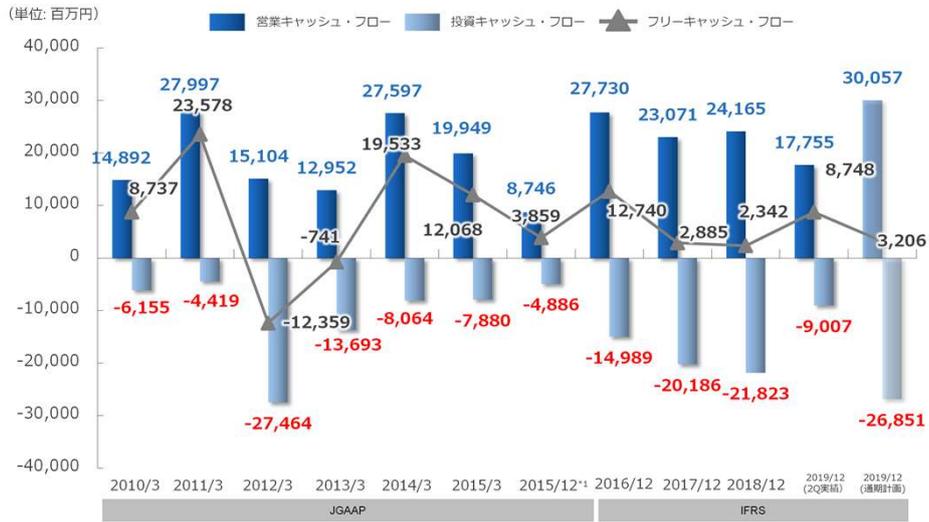
CMP：精密減速機と油圧機器の売上増により期首計画通りの見通し

TRS：各事業が堅調に推移し期首計画通りの見通し

ACB：堅調な需要により期首計画通りの見通し

MFR：包装機での上期の期ズレ分を下期に取り戻し期首計画通りの見通し

連結キャッシュ・フロー



** 「2015年12月期末実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期末実績(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご注意ください。

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) 主要製品

精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ パワーショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)
工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、コベルコ建機、住友建機、クボタ、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

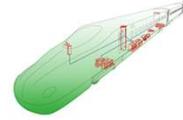
トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

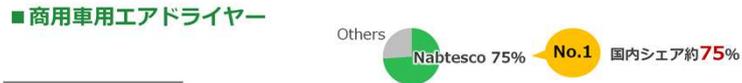
JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

商用車用機器



船用機器



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

川崎重工業、マキタ、三井造船、(株)日立造船、三菱重工業、Hyundai Heavy Industries (韓)、Doosan Engine (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) 主要製品

自動ドア

■自動ドア開閉装置



■プラットフォームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

■自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットフォームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。
Nabtesco